



石橋 利栄さん  
大阪市・道頓堀川畔  
大和屋本店

栃木県塩原温泉やまの宿下藤屋の渡邊匡美

女将よりバトンを受けました、大阪・道頓堀川畔 大和屋本店の石橋利栄でございます。

大阪はコロナ前には至りませんが、円安とインバウンド水際対策の緩和、全国旅行支援も重なり、止まっていた噴水が急に復活したかの如く、人で賑わっ

てまいりました。

水の都・商都大阪は大閤さんの時代より商売が栄えました。車がない時代には、水路をめぐらしインフラ整備

がされ、日本各地から物資が行き交ったと伝えられていきます。明治にもなると、各地より商人たちが集まり、金融・繊維・交通と様々な分野で日本でも指折



をもつてJKK  
全旅連・女性経営者の会  
リレーコラム  
Vol.158

りの企業が生まれまし  
た。

当館から少し北部に

ある「船場」はその名残で織維問屋が今でも多く集まっています。

JKKの仲間たちが大喜びする「船場めぐり」は女性にとつて超

おもろい街なのです。

そのまた北にある「道修町」は薬問屋が集まり、塩野義製薬、武田

薬品など日本を代表する製薬会社の発祥地です。大通りを少し中に

入れば歴史ある商家の重要文化財がおしゃれなカフェと入り交り、

住んでいる私でさえワクワクするスポットです。

南に向くと、約80の寺院が密集している下

寺町の先に、聖徳太子が建立した日本最古と

いわゆる四天王寺が大きいきたすみ、今でも先祖供養のためにたくさんの方が参拝に訪れます。

このところ、道頓堀界わいは若者が集い、ビルが隙間なく建ち、

食い倒れの町で有名ですが、徒歩圏内でも歴史や文化も楽しめる飽

きない街なのです。さあ、そろそろ

「儲かってまつか？」のあいさつも聞こ

えてきそうです。そして、いよいよ2025年大阪・関西万

## 「儲かってまつか」目前かな

博まで1千日を切りました。大阪では、万博盛り上げも加速気味です。「いのち輝く未来社会のデザイン」がコンセプトのEXPO2025は夢洲で着々と準備が進んでいる模様です。世界各国から最先端の技術を駆使しSDGsを意識したEXPOは、また新たな大阪の歴史を刻みます。

次は沖縄県・海の旅亭おきなわ 名嘉真荘の富島美樹さんにインタビュータッチいたしました。2月には沖縄で定例会が開催されますので、お会いするのが楽しみです。